

資料編

1 生態系区分・地域区分

生態系区分、地域区分は、地域の生態系を総合的に理解することを目的として「環境アセスメントベースマップ整備マニュアル」（平成 15 年度 環境省環境総合政策局環境影響評価課）に示された手法を参考とした。

(1) 生態系区分

生態系区分は、その元となる主題図である地形分類図、地質分類図、土壤分類図、植生図について重合前に凡例統合を行い、それぞれの大区分図を作成した。生態系を把握するための生態系区分として意味のある凡例となるよう重合し、22 凡例に整理した（図 1、表 1）。

なお、凡例の重合にあたっては、地形、地質等の条件を反映していると考えられる植生図大区分の凡例を主とし、他の主題図の凡例については、地域区分の検討の際に重要と考えられた環境要素を取り込んだ。

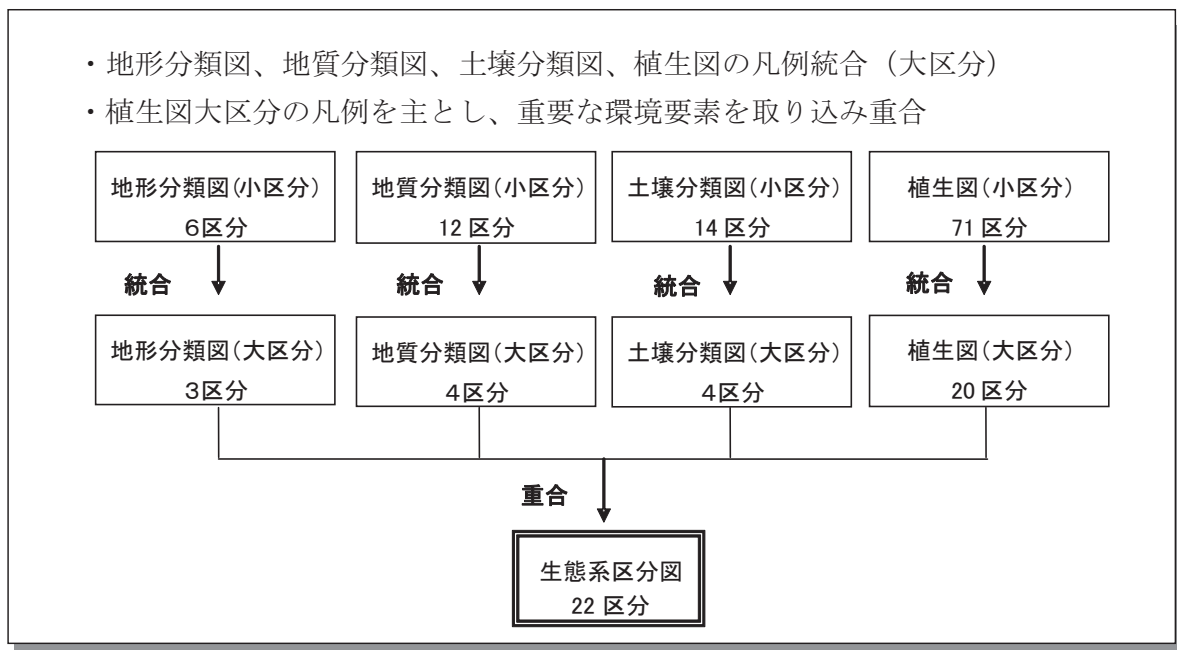


図 1 生態系区分方法

(2) 地域区分

地域区分は、生態系のつながりだけでなく、地域の社会、経済のつながりを反映しており、情報提供時の地域区分として受け入れられやすい流域界を地域区分の最小単位として利用した。

最小流域単位と地形、地質、土壤、植生の大区分図を重ね合わせ、地域を区分する上で重要な環境要素の抽出を行い、最小流域単位の結合により地域区分を行った。

この結果、豊川水系、天竜川水系、矢作川水系の 3 水系に大きく区分されるとともに、豊川水系が 5 地域、天竜川水系が 4 地域、矢作川水系が 5 地域の計 14 地域に区分された。

表1 生態系区分に係る凡例統合表

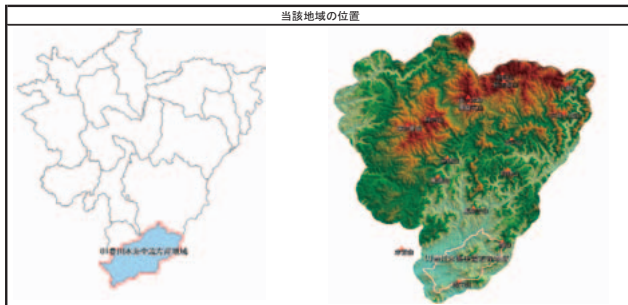
生態系区分	面積(ha)	構成比(%)	主題図の凡例区分(大区分)			
			植生大区分	地形大区分	地質大区分	
01ブナクラス域自然植生	282.4	0.24%	01ブナクラス域自然植生	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			01ブナクラス域自然植生	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
02冷温帯針葉樹林	141.5	0.12%	02冷温帯針葉樹林	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			02冷温帯針葉樹林	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			02冷温帯針葉樹林	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			02冷温帯針葉樹林	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
03ポドゾル	119.5	0.10%	01ブナクラス域自然植生	01山地	02火成岩・変成岩類	01ポドゾル
			03ブナクラス域代償植生	01山地	02火成岩・変成岩類	01ポドゾル
04ブナクラス域代償植生	4774.1	3.99%	14植林地	01山地	02火成岩・変成岩類	01ポドゾル
			03ブナクラス域代償植生	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			03ブナクラス域代償植生	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			03ブナクラス域代償植生	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			03ブナクラス域代償植生	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			03ブナクラス域代償植生	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
05ヤブツバキクラス域自然植生	156.8	0.13%	03ブナクラス域代償植生	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			04ヤブツバキクラス域自然植生	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			04ヤブツバキクラス域自然植生	01山地	02火成岩・変成岩類	01ポドゾル
			04ヤブツバキクラス域自然植生	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			04ヤブツバキクラス域自然植生	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			04ヤブツバキクラス域自然植生	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			04ヤブツバキクラス域自然植生	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			04ヤブツバキクラス域自然植生	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			04ヤブツバキクラス域自然植生	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			04ヤブツバキクラス域自然植生	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
06暖温帯針葉樹林	352.2	0.29%	05暖温帯針葉樹林	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			05暖温帯針葉樹林	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			05暖温帯針葉樹林	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			05暖温帯針葉樹林	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			05暖温帯針葉樹林	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			05暖温帯針葉樹林	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			05暖温帯針葉樹林	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			05暖温帯針葉樹林	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
07シイ・カシ二次林	2053.5	1.71%	06シイ・カシ二次林	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	02台地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			06シイ・カシ二次林	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			07ヤブツバキクラス域代償植生	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			07ヤブツバキクラス域代償植生	01山地	01堆積岩類	03低地土
			07ヤブツバキクラス域代償植生	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			07ヤブツバキクラス域代償植生	01山地	02火成岩・変成岩類	04暗赤土
			07ヤブツバキクラス域代償植生	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			07ヤブツバキクラス域代償植生	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
07ヤブツバキクラス域代償植生	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等			
07ヤブツバキクラス域代償植生	02台地	01堆積岩類	03低地土			
07ヤブツバキクラス域代償植生	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等			
07ヤブツバキクラス域代償植生	02台地	02火成岩・変成岩類	03低地土			
07ヤブツバキクラス域代償植生	02台地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等			
07ヤブツバキクラス域代償植生	02台地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等			
07ヤブツバキクラス域代償植生	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等			
07ヤブツバキクラス域代償植生	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等			
07ヤブツバキクラス域代償植生	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等			
07ヤブツバキクラス域代償植生	03低地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等			
08ヤブツバキクラス域代償植生	13949.2	11.65%	08二次草原	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			08二次草原	01山地	02火成岩・変成岩類	01ポドゾル
			08二次草原	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			08二次草原	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			08二次草原	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			08二次草原	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
09二次草原	45.0	0.04%	08二次草原	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			08二次草原	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
10湿原植生	1.6	0.00%	09湿原植生	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			09湿原植生	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
11河辺林	51.6	0.04%	10河辺林	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			10河辺林	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			10河辺林	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			10河辺林	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			10河辺林	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			10河辺林	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
12河辺・湿原等	151.1	0.13%	10河辺林	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			11河辺・湿原等	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			11河辺・湿原等	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			11河辺・湿原等	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			11河辺・湿原等	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			11河辺・湿原等	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
13岩壁植生	33.8	0.03%	11河辺・湿原等	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			11河辺・湿原等	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			12岩壁植生	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			12岩壁植生	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			12岩壁植生	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			12岩壁植生	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
14蛇紋岩地植生	83.4	0.07%	12岩壁植生	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			13蛇紋岩地植生	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			13蛇紋岩地植生	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			13蛇紋岩地植生	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			13蛇紋岩地植生	02台地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			13蛇紋岩地植生	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等

表1 生態系区分に係る凡例統合表

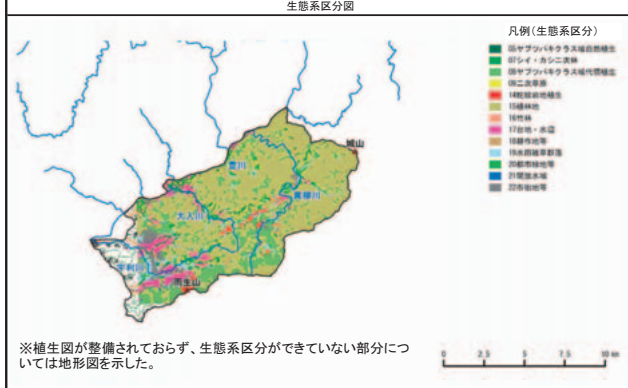
生態系区分	面積(ha)	構成比(%)	主題図の凡例区分(大区分)			
			植生大区分		地質大区分	
			地形大区分	地質大区分	地質大区分	土壌大区分
15植林地	86561.2	72.28%	14植林地	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	01山地	01堆積岩類	03低地土
			14植林地	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	01山地	02火成岩・変成岩類	04暗赤色土
			14植林地	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	02台地	01堆積岩類	03低地土
			14植林地	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	02台地	02火成岩・変成岩類	03低地土
			14植林地	02台地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	02台地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			14植林地	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
14植林地	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等			
14植林地	03低地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等			
16竹林	69.5	0.06%	15竹林	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			15竹林	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			15竹林	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			15竹林	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			15竹林	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			15竹林	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
17台地・水辺	1509.6	1.26%	16耕作地等	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	02台地	01堆積岩類	03低地土
			16耕作地等	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	02台地	02火成岩・変成岩類	03低地土
			16耕作地等	02台地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	02台地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	02台地	01堆積岩類	03低地土
			17水田雑草群落	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	02台地	02火成岩・変成岩類	03低地土
			17水田雑草群落	02台地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	02台地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	02台地	01堆積岩類	03低地土
18耕作地等	2098.2	1.75%	16耕作地等	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	01山地	02火成岩・変成岩類	01ボトソル
			16耕作地等	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	01山地	02火成岩・変成岩類	04暗赤色土
			16耕作地等	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			16耕作地等	03低地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
19水田雑草群落	2995.4	2.50%	17水田雑草群落	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	01山地	01堆積岩類	03低地土
			17水田雑草群落	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			17水田雑草群落	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
20都市緑地等	506.6	0.42%	18都市緑地等	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			18都市緑地等	01山地	01堆積岩類	03低地土
			18都市緑地等	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			18都市緑地等	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			18都市緑地等	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			18都市緑地等	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			18都市緑地等	02台地	01堆積岩類	03低地土
			18都市緑地等	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			18都市緑地等	02台地	02火成岩・変成岩類	03低地土
			18都市緑地等	02台地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
21開放水域	1083.1	0.90%	19開放水域	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			19開放水域	03低地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
22市街地等	2744.6	2.29%	20市街地等	01山地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	01山地	02火成岩・変成岩類	01ボトソル
			20市街地等	01山地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	01山地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	01山地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	02台地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	02台地	01堆積岩類	03低地土
			20市街地等	02台地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	02台地	02火成岩・変成岩類	03低地土
			20市街地等	02台地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	02台地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	03低地	01堆積岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	03低地	02火成岩・変成岩類	02褐色森林・赤黄色土等
			20市街地等	03低地	03流紋岩類	02褐色森林・赤黄色土等
20市街地等	03低地	04塩基性岩	02褐色森林・赤黄色土等			
合計	119763.9	100.00%				

地域区分 流域界や地形、地質、土壌、植生といった生態系区分に着目し、検討対象地域を3流域14地域に区分した。	地域番号 1 所在市町村 新城市 水系 豊川水系 標高 17~657m 地域名 中流左岸地域 流域面積 9248.8ha
	河川 豊川、宇利川、大入川、黄柳川
自然環境の特性 【生態系区分】 生態系の特徴を総合的に把握するため、地形、地質、土壌、植生を基に22の区分に分類した。 【地形、地質、土壌】 50万分の1土地分類基本調査 GISデータ(国土交通省土地・水資源局国土調査課)の凡例区分による。 【植生】 第6回、第7回自然環境保全基礎調査植生調査(環境省自然環境局生物多様性センター)の凡例区分による。	生態系区分 優占生態系区分: 雑林地 5706.1ha(61.7%) ヤブツバキクスス域自生雑草 2.0ha、シイ・カン二次林 100.1ha、ヤブツバキクスス域代償雑草 1525.3ha、二次草原 1.8ha、蛇紋岩地雑草 83.4ha、竹林 3.8ha、台地・水辺 425.5ha、耕作地等 176.1ha、水田雑草群 471.64ha、都市緑地等 426.6ha、開放水域 27.3ha、市街地等 298.6ha
	地形 優占地形: 山地急斜面 5528.4ha(59.9%) 丘陵地急斜面及び緩斜面 1603.4ha、砂礫台地及び岩石台地 1230.7ha、扇状地及び谷底平野 886.3ha
地域生態系の特徴 地域の特徴的な山岳、河川等を示し、地形、地質、土壌、植生それぞれの項目で地域を特徴づけるものを記載している。	地質 優占地質: 結晶片岩類 6388.8ha(69.1%) 砂礫・粘土 1766.1ha、洪積砂礫(段丘堆積物を含む) 108.1ha、花崗岩類 0.72ha、珪い岩・輝緑岩 456.9ha、蛇紋岩 526.2ha
	土壌 優占土壌: 残積性未熟土(赤黄色土混在型) 5337.3ha(57.1%) 褐色森林土 952.5ha、乾性褐色森林土(I) 1621.3ha、赤色土 35.9ha、黒ボク土 850.4ha、淡色黒ボク土 224.8ha、褐色低地土 193.6ha、粗粒灰色低地土 33.1ha
	植生 優占植生: スギ・ヒノキ・サワラ雑林 5700.0ha(61.6%) カナメチーゴイ群 1.7ha、イロハモジリケヤキ群 1.2ha、シイ・カン二次林 100.1ha、コナラ群(VII) 381.4ha、アカマツ群(IX) 18ha、樺木群 38.5ha、スズキ群(III) 1.8ha、狭葉雑草群(VII) 5.8ha、ヒロハドウダンツツシ・アカマツ群 83.4ha、アカマツ雑林 6.1ha、竹林 3.8ha、ゴルフ場・芝地 22.9ha、路傍・空地雑草群 4.6ha、果樹園 113.5ha、畑雑草群 205.8ha、水田雑草群 655.1ha、放棄水田雑草群 48.4ha、市街地 191.3ha、緑の多い住宅地 426.6ha、工場地帯 32.0ha、造成地 73.3ha、開放水域 50.2ha、71自然緑地 1.9ha
	地域生態系の特徴 両生山が含まれる。これらの地域の地質には、塩基性岩地質(蛇紋岩)が含まれており、ヒロハドウダンツツシ、ムラサキセツリ、シマヅムラソウなどの愛知県内でも本地域特有の塩基性岩地質に生育する植物の確認記録が多くある。また、植生は、ヤブツバキクスス域のみで雑林地が約80%と多いが、ヤブツバキクスス域代償雑草も広く分布している。面積は少ないが二次草原や塩基性岩地質(蛇紋岩)の場所では草原状となる蛇紋岩地帯に生息しているため、愛知県で減少傾向にあるスズサイコ、マツバニンジン、マツバニンジンなどの草花植物の確認記録がある。また、ヒメヒコやミヤマチャハネセリ、ギンイチモンジセリなど草花性の希少なチョウ類の生息確認記録がある。このため、両生山周辺は、生物多様性ホットスポットとなっており、保全上重要な地域である。また、台地地形も両生山北側の宇利川沿いに分布しており、湿地的な動植物が生息生育する湧水湿地となる環境が小規模に存在するものと考えられる。 【種群数確認】 77種(EX:3, CR:5, EN:11, VU:34, NT:24) EX: ヒメヒコ、ヒナシラ、マダオシ、CR: イッセンツツシ、オグラコウホネ、カガシラ、ヒメヒコ、マツバニンジン、EN: カジノキ、ケンボナン、シメツツシ、トクソウ、ナラガシラ、ヒメヒコ、ヒロハノア、マルバオモダカ、ミカワハイネイ、ミシマサイコ、ミノコバノモ、VU: アオヒメヒコ、アセトキリ、イシモチソウ、イワオモダカ、ウメケモドキ、オオムシクサ、カザグルマ、キクアザミ、コケシロ、ユメカササ、ゴマクサ、ササハモ、シズイ、スズラン、セトクハハ、ツゲ、ハハネス、ハマエノコ、ヒメヒコ、ヒメヒコ、ヒロハドウダンツツシ、ヒロハヤブソウ、フキヤミツバ、フナバラソウ、ホタルカズラ、ホンゴウソウ、ミスズボ、ムラサキセツリ、ヤナギノキ、ヤマサキソウ、ヤマシロ、ヨツバハギ、ワカナンダ NT: イカリソウ、イトテンツキ、イヌセンブリ、イブキボウフウ、ウンスケ、エビネ、オオバクサフジ、キキョウ、キンラン、クサナギオゴケ、ヨウラクソウ、シマヅムラソウ、シラネ、シメツツシ、シメツツシ、スハマソウ、タニジョウソウ、ネズミザシ、ヒメヒコ、マツバニンジン、ミスズボ、ミスズボ、ミスズボ、ミスズボ、ミスズボ、ミスズボ 【希少種】 4種(CR:1, VU:3) CR: マルバオウゴケ、VU: カビゴケ、カワブチゴケ、キリハネゴケ 【哺乳類】 2種(NT:2) NT: キクガシラコウモリ、ムササビ 【鳥類】 27種(CR:1, EN:3, VU:10, NT:13) CR: コノハズク、EN: タヌキ、ハヤブサ、ヤマセミ VU: アカハ、イカルチドリ、カワアイサ、カワガラス、サシバ、ジュウイチ、トモエガモ、ハチクマ、ヒクイナ、ヨダカ NT: アオバズク、オオコノハズク、オオタカ、コアジサシ、コマメタカ、コリリ、サンコウチョウ、ツツリ、ツミ、クロウ 【両生類】 1種(DD:1) DD: ツチガエル 【昆虫類】 14種(CR:1, EN:3, VU:3, NT:6, DD:1) CR: ヒメヒコ、EN: スズボソヤマキチョウ、タガメ、ミヤマチャハネセリ、VU: ウラナミジメ、ギンイチモンジセリ、クロヒカゲモドキ、NT: イセキリガ、エサキアメンボ、エチゴハガタトウ、オオムラサキ、キイロヤマトンボ、ギフチョウ、DD: ニシキキンカメムシ 【魚類】 5種(CR:1, VU:1, NT:3) CR: ミカワマイマイ、VU: マジメ、NT: トウカイヤマトガイ、ハチノゴキセル、ミカワギセル

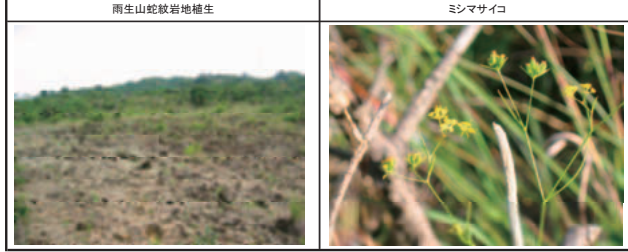
確認記録のある希少な動植物 当該地域において、「奥山生態系保全の考え方」に係る現地調査および文献で確認記録のある種のうち、「レッドデータブックあいち 2009」に掲載されている種を分類群に別け、下記カテゴリごとに50音順に記載した。 EX: 絶滅種、CR: 絶滅危惧 I A 類、EN: 絶滅危惧 I B 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
【文献】 ①「鳥居喜一寄贈東三河の植物標本目録」(鳳来寺山自然科学博物館、平成7年) ②「愛知の野鳥 1995」(愛知県農地林務部、平成8年) ③「新城地方の植物」(愛知県、平成12年) ④「北設楽の植物」(愛知県林業試験研究推進協議会、平成18年) ⑤「レッドデータブックあいち 2009—植物編—」(愛知県環境部、平成21年) ⑥「レッドデータブックあいち 2009—動物編—」(愛知県環境部、平成21年)
【方法】 1. 上記出典に記載の生物情報のうち、奥山地域で記録のある位置精度の高いデータを抽出 ・ 動物は、位置情報として3次メッシュコード*があるデータを抽出 ・ 植物は出典①②③に記載の地名(山岳名、河川名、字名など)と「数値地図25000(地名・公共施設)」の地名を照合し位置情報を取得。取得した位置情報を3次メッシュコードに変換し、位置情報として利用 2. 希少種の抽出 上記1で抽出されたデータのうち、「レッドデータブックあいち 2009」(愛知県、平成21年)掲載種を抽出。 3. 地域区分毎の希少種の抽出 該当する地域区分に含まれる3次メッシュコード*を位置情報としてもつ希少種をその地域区分で確認記録のある希少な動植物とした。ただし、タキミシダ、オキナグサ、レンゲショウマ、コバノリュウキンカ、ギボウシラン、イワチドリ、ウチョウランの7種については、盗掘のおそれがあるため、希少種保護の観点から地域毎の環境カルテに記載しないこととした。
【留意点】 ・ 古い確認記録も含んでいるので、必ずしも現在の分布を表すものではない。 ・ 位置情報については、出典に記載されている地名(山岳名、河川名、字名など)を基に3次メッシュコード*に変換しており、メッシュ変換時および流域区分への対応時の誤差を含んでいる。このため、地域境界付近では実際の分布を表していない場合もある。 *「統計に用いる標準地域メッシュおよび標準地域メッシュ・コード」(昭和48年行政管理庁告示第143号)により規定されているメッシュコード。なお、メッシュは日本測地系で生成されたものを使用。



当該地域の位置
当該地域の奥三河における位置を白地図と陰影図で示した。また、地域番号と名称を示した。



生態系区分図
当該地域の生態系区分の分布を示した。また、主な河川、山岳についても示した。



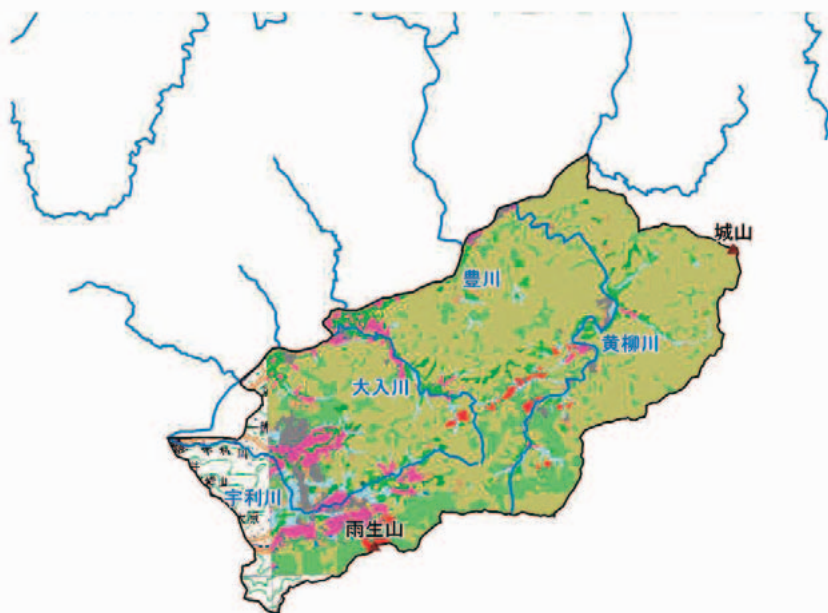
環境資源
地域を代表する景観、動植物種といった環境資源の写真を示した。

地域番号	1	水系	豊川水系	地域名	中流左岸地域
所在市町村	新城市	標高	17～657m	流域面積	9248.8ha
河川	豊川、宇利川、大入川、黄柳川				
自然環境の特性	生態系区分	優占生態系区分:植林地 5706.1ha(61.7%) ヤブツバキクラス域自然植生 2.9ha、シイ・カシ二次林 100.1ha、ヤブツバキクラス域代償植生 1525.3ha、二次草原 1.6ha、蛇紋岩地植生 83.4ha、竹林 3.8ha、台地・水辺 425.5ha、耕作地等 176.1ha、水田雑草群落 471.64ha、都市緑地等 426.6ha、開放水域 27.3ha、市街地等 298.6ha			
	地形	優占地形:山地急斜面 5528.4ha(59.8%) 丘陵地急斜面及び緩斜面 1603.4ha、砂礫台地及び岩石台地 1230.7ha、扇状地及び谷底平野 886.3ha			
	地質	優占地質:結晶片岩類 6388.8ha(69.1%) 砂礫・粘土 1768.1ha、洪積砂礫(段丘堆積物を含む) 108.1ha、花崗岩類 0.72ha、斑れい岩・輝緑岩 456.9ha、蛇紋岩 526.2ha			
	土壌	優占土壌:残積性未熟土(赤黄色土混在型) 5337.3ha(57.71%) 褐色森林土 952.5ha、乾性褐色森林土(I) 1621.3ha、赤色土 35.9ha、黒ボク土 850.4ha、淡色黒ボク土 224.8ha、褐色低地土 193.6ha、粗粒灰色低地土 33.1ha			
	植生	優占植生:スギ・ヒノキ・サワラ植林 5700.0ha(61.6%) カナメモチーコジイ群集 1.7ha、イロハモミジケヤキ群集 1.2ha、シイ・カシ二次林 100.1ha、コナラ群落(VII) 381.4ha、アカマツ群落(VII) 1099.6ha、低木群落 38.5ha、ススキ群団(VII) 1.6ha、伐採跡地群落(VII) 5.8ha、ヒロハドウダンツツジーアカマツ群落 83.4ha、アカマツ植林 6.1ha、竹林 3.8ha、ゴルフ場・芝地 22.9ha、路傍・空地雑草群落 4.6ha、果樹園 113.5ha、畑雑草群落 205.8ha、水田雑草群落 655.1ha、放棄水田雑草群落 48.4ha、市街地 191.3ha、緑の多い住宅地 426.6ha、工場地帯 32.0ha、造成地 73.3ha、開放水域 50.2ha、71自然裸地 1.9ha			
地域生態系の特徴	雨生山が含まれる。これらの地域の地質には、塩基性岩地質(蛇紋岩)が含まれており、ヒロハドウダンツツジ、ムラサキセンブリ、シマジタムラソウなどの愛知県内でも本地域特有の塩基性岩地質に生育する植物の確認記録が多くある。また、植生は、ヤブツバキクラス域のみで植林地が約60%と多いが、ヤブツバキクラス域代償植生も広く分布している。面積は少ないが二次草原や塩基性岩地質(蛇紋岩)の場所では草原状となる蛇紋岩地植生が存在しているため、愛知県で減少傾向にあるスズサイコ、マツパニンジン、マツムシソウなどの草地性植物の生育確認記録がある。また、ヒメヒカゲやミヤマチャバナセセリ、ギンイチモンジセセリなど草地性の希少なチョウ類の生息確認記録がある。このため、雨生山周辺は、生物多様性ホットスポットとなっており、保全上重要な地域である。また、台地地形も雨生山北側の宇利川沿いに分布しており、湿地性の動植物が生息生育する湧水湿地となる環境が小規模に存在するものと考えられる。				
確認記録のある希少な動植物	【維管束植物】 77種(EX:3、CR:5、EN:11、VU:34、NT:24) EX:ヒゴタイ、ヒナラン、マメダオシ CR: イッスンテンツキ、オグラコウホネ、カガシラ、ヒメヒゴタイ、マツパニンジン EN:カジノキ、ケンボナシ、ジングウツツジ、トキソウ、ナラガシワ、ヒメビシ、ヒロハノアマナ、マルバオモダカ、ミカワバイケイソウ、ミシマサイコ、ミノコバイモ VU:アオヒエスゲ、アゼオトギリ、イシモチソウ、イワオモダカ、ウンヌケモドキ、オオмамシグサ、カザグルマ、キクアザミ、コケリンドウ、コゴメカゼクサ、ゴマクサ、サギソウ、ササバモ、シズイ、スギラン、セイタカハライ、ツゲ、ハイネズ、ハマエノコロ、ヒナザサ、ヒメシオン、ヒロハドウダンツツジ、ヒロハヤブソテツ、フキヤミツバ、フナバラソウ、ホタルカズラ、ホンゴウソウ、ミズトンボ、ムラサキセンブリ、ヤナギノギク、ヤマサギソウ、ヤマジソ、ヨツバハギ、ワカナシダ NT:イカリソウ、イトテンツキ、イヌセンブリ、イブキボウフウ、ウンヌケ、エビネ、オオバクサフジ、キキョウ、キンラン、クサナギオゴケ、コウラボシ、シマジタムラソウ、シラン、ジングウスゲ、スハマソウ、タニジャコウソウ、ネズミサシ、ヒキヨモギ、ヒルムシロ、マツムシソウ、ミズギク、ミズニラ、ミスミソウ、ミノナオシ 【蘚苔類】 4種(CR:1、VU:3) CR:マルバホウオウゴケ、VU:カビゴケ、カワブチゴケ、キブリハネゴケ 【哺乳類】 2種(NT:2) NT:キクガシラコウモリ、ムササビ 【鳥類】 27種(CR:1、EN:3、VU:10 NT:13) CR:コノハズク EN:クマタカ、ハヤブサ、ヤマセミ VU:アカハラ、イカルチドリ、カワアイサ、カワガラス、サシバ、ジュウイチ、トモエガモ、ハチクマ、ヒクイナ、ヨタカ NT:アオバズク、オオコノハズク、オオタカ、コアジサシ、コサメビタキ、コルリ、サンコウチョウ、ツツドリ、ツミ、フクロウ、ミサゴ、ミノサザイ、ヤマシギ 【両生類】 1種(DD:1) DD:ツチガエル 【昆虫類】 14種(CR:1、EN:3、VU:3、NT:6、DD:1) CR:ヒメヒカゲ EN:スジボソヤマキチョウ、タガメ、ミヤマチャバナセセリ VU:ウラナミジャノメ、ギンイチモンジセセリ、クロヒカゲモドキ NT:イセキリガ、エサキアメンボ、エチゴハガタヨトウ、オオムラサキ、キイロヤマトンボ、ギフチョウ DD:ニシキキンカメムシ 【貝類】 5種(CR:1、VU:1、NT:3) CR:ミカワマイマイ VU:マシジミ NT:トウカイヤマトガイ、ハチノコギセル、ミカワギセル				

当該地域の位置



生態系区分図



凡例(生態系区分)

- 05 ヤブツバキクラス域自然植生
- 07 シイ・カシ二次林
- 08 ヤブツバキクラス域代償植生
- 09 二次草原
- 14 蛇紋岩地植生
- 15 植林地
- 16 竹林
- 17 台地・水辺
- 18 耕作地等
- 19 水田雑草群落
- 20 都市緑地等
- 21 開放水域
- 22 市街地等

※植生図が整備されておらず、生態系区分ができていない部分については地形図を示した。



雨生山蛇紋岩地植生

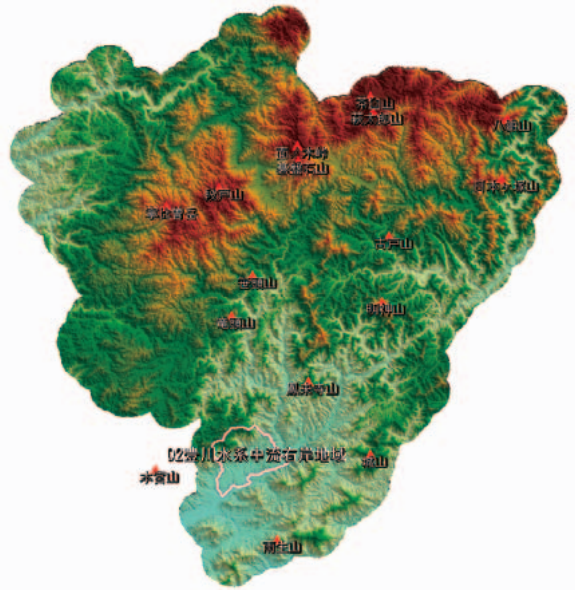


ミシマサイコ



地域番号	2	水系	豊川水系	地域名	中流右岸地域
所在市町村	新城市	標高	18~680m	流域面積	2110.4ha
河川	豊川、田町川、野田川				
自然環境の特性	生態系区分	優占生態系区分: 植林地 965.6ha(45.8%) ヤブツバキクラス域自然植生 1.6ha、シイ・カシ二次林 9.8ha、ヤブツバキクラス域代償植生 73.9ha、竹林 0.6ha、台地・水辺 481.0ha、耕作地等 10.4ha、水田雑草群落 75.1ha、都市緑地等 44.9ha、開放水域 3.9ha、市街地等 443.56ha			
	地形	優占地形: 砂礫台地及び岩石台地 1379.8ha(65.4%) 山地急斜面 730.6ha			
	地質	優占地質: 花崗岩類 1589.8ha(75.3%) 砂礫・粘土 83.1ha、洪積砂礫(段丘堆積物を含む) 305.5ha、片麻岩類 132.0ha			
	土壌	優占土壌: 残積性未熟土(赤黄色土混在型) 876.9ha(41.6%) 黄色土 454ha、黒ボク土 97.7ha、淡色黒ボク土 580.6ha、褐色低地土 18.2ha、粗粒灰色低地土 82.9ha			
	植生	優占植生: スギ・ヒノキ・サワラ植林 959.4ha(45.5%) カナメモチーコジイ群集 0.8ha、ヤブコウジースダジイ群集 0.8ha、シイ・カシ二次林 9.8ha)、コナラ群落(VII) 28.3ha、アカマツ群落(VII) 27.7ha、低木群落 11.9ha、伐採跡地群落(VII) 6.1ha、アカマツ植林 6.2ha、竹林 0.6ha、果樹園 35.9ha、畑雑草群落 119.5ha、水田雑草群落 372.7ha、放棄水田雑草群落 22.6ha、市街地 360.8ha、緑の多い住宅地 44.9ha、工場地帯 62.8ha、造成地 19.3ha、開放水域 19.8ha、自然裸地 0.6ha			
地域生態系の特徴	豊川の河岸段丘である台地地形が含まれる地域。新城市などの市街地が存在するため他の地域に比べ、市街地の割合が約20%と高くなっている。植生はヤブツバキクラス域であるが、他の地域に比べ河川沿いに広く台地が分布しており、開発される前は湧水湿地が多く見られていたと考えられる場所である。現在では、土地利用である水田雑草群落が多く含まれている。現在でも水田脇や、山裾には規模が小さいが湿地が存在している。八束穂や川路周辺の台地部分は湿地性の希少な植物の生育確認記録がある。現存している湿地については、周辺植生を含めた植生保全の必要性が高い。				
確認記録のある希少な動植物	<p>【維管束植物】 45種 (EX:1、CR:3、EN:12、VU:18、NT:11) EX: マメダオシ CR: オグラコウホネ、カガシラ、ヒメミクリ EN: オオアカウキクサ、コウホネ、シバハギ、デンジソウ、トクソウ、ナガバノヤノネグサ、ナラガシワ、ヒメビシ、フウラン、マルバオモダカ、ミカワバイケイソウ、ミノコバイモ VU: アゼオトギリ、イシモチソウ、イワオモダカ、ウンヌケモドキ、オオマムシグサ、カキツバタ、カザグルマ、クマガイソウ、サギソウ、シズイ、トラノハナヒゲ、ピロードノリウツギ、ホタルカズラ、ホンゴウソウ、ミズトンボ、ヤマトキソウ、ヨツバハギ、ワカナシダ NT: イカリソウ、ウンヌケ、エビネ、キキョウ、キンラン、シラン、ヒルムシロ、マツムシソウ、ミズギク、ミノナオシ、ルリミノキ</p> <p>【蘚苔類】 2種 (CR:1、VU:1) CR: マルバホウオウゴケ VU: キブリハネゴケ</p> <p>【哺乳類】 2種 (NT:2) NT: キクガシラコウモリ、ムササビ</p> <p>【鳥類】 26種 (CR:2、EN:3、VU:9、NT:12) CR: コノハズク、ブッポウソウ EN: クマタカ、マミジロ、ヤマセミ VU: アカショウビン、アカハラ、イカルチドリ、カワガラス、サシバ、ジュウイチ、ハチクマ、ヒクイナ、ヨタカ NT: アオバズク、オオコノハズク、オオタカ、コサメビタキ、コルリ、サンコウチョウ、ツツドリ、ツミ、フクロウ、ミサゴ、ミノサザイ、ヤマシギ</p> <p>【昆虫類】 5種 (EN:2、NT:3) EN: クロシジミ、スジボソヤマキチョウ NT: オオムラサキ、キイロヤマトンボ、ギフチョウ</p> <p>【貝類】 2種 (VU:1、NT:1) VU: マシジミ NT: ドブガイ</p>				

当該地域の位置



生態系区分図



凡例(生態系区分)

- 05 ヤブツバキクラス域自然植生
- 07 シイ・カシニ次林
- 08 ヤブツバキクラス域代償植生
- 15 植林地
- 16 竹林
- 17 台地・水辺
- 18 耕作地等
- 19 水田雑草群落
- 20 都市緑地等
- 21 開放水域
- 22 市街地等



※植生図が整備されておらず、生態系区分ができていない部分については地形図を示した。

豊川(桜淵)



サシバ

